

消防参第 143 号

令和 4 年 6 月 15 日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁国民保護・防災部参事官

(公 印 省 略)

第 25 回全国消防救助シンポジウムの開催について (通知)

標記シンポジウムを下記のとおり開催しますので、貴都道府県内の消防本部及び消防防災関係機関へ周知いただき、参加者及び事例研究発表希望者の取りまとめについて御配慮ください。

記

1 日時

令和 4 年 11 月 15 日 (火) 10 時 30 分から 17 時 00 分まで

2 会場

銀座ブロッサム中央会館

東京都中央区銀座 2 丁目 15 番 6 号

3 テーマ

「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」

4 開催要領

別紙のとおり

5 その他

現在、会場及びオンラインで同時開催する「ハイブリッド開催方式」を進めています。新型コロナウイルス感染症拡大状況等によっては開催方式を変更する場合がございます。その場合は別途、御連絡いたしますので、あらかじめ御了承くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係

宮嶋係長、岡田事務官

TEL: 03-5253-7507

E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

第 25 回 全国消防救助シンポジウム開催要領

1 目的

本シンポジウムは、全国の消防・救助隊員、消防学校関係者、都道府県消防防災関係者等を対象とし、救助技術の研究開発及び消防活動事例の発表や意見交換を行うことにより、救助技術の向上及び救助隊員相互の交流と親睦を深め、我が国における救助体制の一層の充実を図ることを目的とする。

2 日時

令和 4 年 11 月 15 日（火）10 時 30 分から 17 時 00 分まで

3 会場

銀座プロッサム中央会館
東京都中央区銀座 2 丁目 15 番 6 号

4 テーマ

「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」

掘削現場等での生き埋め事故、地下道等における狭隘で劣悪な環境下での酸素欠乏事故、工場内において巻き込まれた機械事故、視程が皆無の水域や液化化した大量土砂に覆われた事案など、活動困難な環境下での救助事案は、前例や対応経験がなく、保有する資機材、知識・技術を最大限駆使しても対応が困難である。

このような救助事案に対応するためには、過去事例を研究し、応用力や発想力などを合わせた総合的な現場対応能力の向上及び関係機関との連携が必要となる。

本シンポジウムでは、全国各地で今後も発生し得るであろう、活動困難な環境下で活動をした事案等の活動事例、課題・その改善策を全国の消防本部に共有することにより、対応能力の向上に資することを目的とする。

※会場内に各企業の救助資機材展示ブースを設ける。

5 参加対象者

消防・救助隊員、消防学校関係者、都道府県消防防災関係者等

6 主催

総務省消防庁

7 開催方式

ハイブリッド開催方式（会場及びオンラインの同時開催）を採用

8 次第（予定）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| (1) 開会 | 10:30～10:35 (05) |
| 消防庁長官 挨拶 | |
| (2) 来賓祝辞 | 10:35～10:40 (05) |
| 全国消防長会会長 | |
| (3) 特別報告 | 10:40～11:10 (30) |
| ※講演者調整中 | |
| (4) 事例研究発表 1 | 11:25～12:10 (45) |
| ※3事例、各15分 | |
| (5) 事例研究発表 2 | 13:10～13:55 (45) |
| ※3事例、各15分 | |
| (6) 事例研究発表 3 | 14:10～14:55 (45) |
| ※3事例、各15分 | |
| (7) 教育講演 | 15:10～15:50 (40) |
| ※講演者調整中 | |
| (8) 総合討論 | 16:05～16:50 (45) |
| 講演者、事例研究発表者、会場及びオンライン参加者による総合討論 | |
| (9) トピック紹介・閉会 | 16:50～17:00 (10) |
| 消防庁国民保護・防災部参事官 挨拶 | |

9 参加申込み

(1) 申込方法

都道府県担当者が会場参加及びオンライン参加の希望者を取りまとめ、別紙 1 「参加希望調査表」に必要事項を記入の上、**令和4年7月29日（金）までに**下記のアドレスへ電子メールで申し込んでください。

※会場参加者数には制限があるため、希望者多数の場合は8月中旬頃に参加者数を調整します。会場参加から漏れた場合、オンライン参加に振り替えます。

※1つの端末から大画面に投影し、複数人で視聴することも可能です。その場合、オンライン参加希望人数1として計上してください。

(2) 参加費用

無料（旅費・通信費等については、参加者側の負担となります。）

(3) その他

10月中旬頃に「プログラム」及び「入場整理券」をメール等で送付する予定です。(当日は、入場整理券を持参している方のみ入場可能です。)

10 事例研究の募集

(1) 募集する事案

【要救助者への接触が極めて困難な状況で、かつ、現場の救助隊や消防機関のみでは救助活動の選択・実施が難しい以下のような事案】

- 狭隘空間・閉所（例：トンネル工事現場、エレベーターの長期閉じ込め）
- 機械・工場内事故等（例：機械への巻き込まれ、サイロ内への落下）
- 活動困難な環境（例：視程が皆無の水域、液状化した大量土砂に覆われた現場）
- 上記の他、全国の消防本部に共有することで、対応能力の向上に資する事案

(2) 募集カテゴリー

- ア 実災害 ……活動困難な救助事案に対応した救助活動報告
(活動事例、課題・その改善策)
- イ 教育訓練・研究 ……活動困難な救助事案に対応する教育訓練及び研究の発表
(訓練手法、資機材や装備の改良・開発・活用、活動困難な救助事案研究の取組み)

(3) 発表方法及び発表時間

パソコン等を使用し、おおむね15分間以内で発表をお願いします。パソコン等は総務省消防庁で準備します。

(4) 応募方法

ア 都道府県担当者が事例研究発表希望者を取りまとめ、調査表様式 別紙2「事例研究発表調査表」、別紙3「事例研究発表原稿様式」に必要事項を記入の上、令和4年8月31日(水)までに下記アドレスへ電子メールで応募してください。

イ 発表希望者がいない都道府県についても、その旨を御連絡ください。

ウ 記載例を必ず御参照ください。

エ 都道府県担当者が発表希望者を取りまとめる際に、発表希望者の把握漏れがないように注意してください。

オ ファイルサイズが大きい(7MB以上)場合は、以下の問い合わせ先まで御連絡ください。

(5) 事例研究発表者の決定

原稿を受領後、総務省消防庁において事例研究発表者を選考し、9月下旬頃に結果をお知らせするとともに、当日の発表資料の作成を依頼します。

なお、選出されなかった事例研究についても、本シンポジウムの記録集に掲載します。

※テーマに沿っていないものは掲載を省略します。

(6) 費用負担

発表者1名までの旅費等については、総務省消防庁で負担します。(発表補助者については、自己負担となります。)

<申込み・応募先>

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：救助係 岡田 大介

E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

参加希望調査表

テーマ「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」

都道府県名		
担当者連絡先	部署名	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

■「会場参加希望人数」と「オンライン参加希望人数」をそれぞれ記載してください。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

※会場参加希望者多数の場合、消防庁で調整します。会場参加から漏れた場合は、オンライン参加へ振り替えます。

※1つの端末から大画面に投影し、複数人で視聴することも可能です。

その場合、オンライン参加希望人数1として計上してください。

	消防関係機関名	会場	オンライン
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
合計		0	0

事例研究発表調査表

テーマ「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」

都道府県名		
消防本部・消防学校名		
所属		
階級		
ふりがな		
氏名		
連絡先	住所	
	電話番号	
発表演題		
PC使用(パワーポイント)		有 <input checked="" type="radio"/> 無

事務担当者	所属名	
	役職または階級	
	ふりがな	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (演題名)

消防本部・学校名
階級 氏名

(本文) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

現職

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

職歴

平成○年 ○月 ○○市消防局採用
令和○年 ○月 現職

演題は、14ポイント



○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (演題名)

記載例

×



1行空ける。

×



(本文) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

霞ヶ関消防局
消防司令補 霞 太郎

現職

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

職歴

平成○年 ○月 霞ヶ関消防局採用

令和○年 ○月 現職

本文末尾に記載。



留意事項

- 1 使用ソフト 「MS-Word」
- 2 基本書式
 - (1) 用紙 A4 縦・横書き
 - (2) 文字 文字数 40・行数 40
 - (3) 余白 上 25mm・下 20mm・左右 20mm
 - (4) 字体 明朝体・12ポイント
- 3 記載上の留意点
 - (1) 演題名は第1行目の中央とし、1行あけて所属・氏名等を書いてください。また、演題名の文字サイズは14ポイントとしてください。
 - (2) 本文中に、図表や写真を適宜用いることは支障ありません。なお、写真等を掲載する場合は、個人のプライバシー保護等に十分注意してください。
 - (3) 本文の末尾に「現職」及び簡単な「職歴」を書いてください。
 - (4) 記録集掲載を考慮し、6ページ以内で論理的にまとめることとし、以下について記載してください。
 - ア 災害概要
 - イ 活動概要
 - ウ 推奨・検討事項
 - エ 推奨・検討事項を踏まえた改善策及び教訓（他消防本部に共有すべきこと）